

第 16回 八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時	平成 24 年 5 月 30 日（水） 10：00～12：00
場 所	八王子市保健所 別館 1 階講堂
議 題	議事 (1) 八王子市地域公共交通活性化協議会 平成 23 年度事業報告及び平成 23 年度決算について (2) 平成 24 年度事業計画（案）について (3) 平成 24 年度における評価基準について (4) 八王子市地域公共交通総合連携計画の一部変更について (5) はちバス西南部コースの変更ルートについて（案） 報告事項 (1) 第 1 回中心市街地循環バス専門分科会の開催について (2) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区タクシーの乗車状況について (3) 交通事業者からの報告
●議事(1) 八王子市地域公共交通活性化協議会 平成 23 年度事業報告及び平成 23 年度決算について 平成 23 年度は、連携計画に計上した 3 事業を行った。山間地域交通改善モデル事業（小津町、醍醐・降宿地区）、バスロケーションシステムの導入に関し、それぞれの事業報告について事務局が説明した。また、平成 23 年度決算及び監査について事務局が説明した。 【主な意見、質疑】 特になし 【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 ●議事(2) 平成 24 年度事業計画（案）について 平成 24 年度事業計画（案）として、山間地域交通改善モデル事業（小津町、醍醐・降宿地区）、バスロケーションシステムの導入について事務局が説明した。 【主な意見、質疑】 - 山間地域交通改善モデル事業の 2 地区について、地元の理解は得ているのか。 ⇒（事務局）平成 24 年度の事業計画の内容については昨年度末の段階で理解いただいている。ただ、地元から、平成 25 年度以降の事業に対する市の補助金額を上げていただきたいという声もいただいている。 【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 ●議事(3) 平成 24 年度事業における評価基準について 平成 21 年度から平成 23 年度の事業の評価基準として、平成 21 年度の乗車人数実績数値（乗車人数 17 人/日）を目標値としていたが、平成 24 年度よりその評価基準を、乗車(利用)率 30%を目標値とする案について、事務局が説明した。 【主な意見、質疑】 - 醍醐・降宿地域での乗合タクシー運行について、平成 21 年度から平成 23 年度実績数値の平均が 64.1%であるが、この場合にも目標値は 30%ということで良いのか。 ⇒（事務局）目標値の設定については、小津町と醍醐・降宿地区で乗車率に大きな差があるため、どのような基準を設定すべきか事務局で検討したが、他地域の例などを参考に乗車(利用)率 30%と提案させていただいた。本議事において、30%という目標値について、果たして適切な数値であるのかご意見を伺いたい。	

- 乗車(利用)率を 30%と設定するに至った根拠となるような資料がないため、この数値が適切かどうかという判断が難しい。地域毎の実状によってパーセンテージは変わってくるのではないかと。
⇒(事務局) 八王子市内において運行されているバスを見ると、乗車率が非常に高いところなどもあるため、あくまで、同様な交通空白地域を比較対象として考えている。例としては、はちバスや山口市等を参考としている。
- 2 地区の乗車率の算定方式について、絶対値に対して、分母や分子が大きい数値で相対数字を算出することと、小さい数値で同様のパーセンテージを算出することでは、相対評価で大きく差が出てくるため、そこを考慮したうえで、しっかり分析していただきたい。
⇒(事務局) 小津町地域バスについて、小学生がスクールバスとして利用している便は乗車率が高く、小学生以外の方が利用する便については、乗車率がかなり低い状況である。一方で、醍醐・降宿ではサービス水準を絞りつつ、乗車率が高い状況である。2 地域でかなり乗車率の差がある中で、サービス水準に対し、どのように市の補助を行うことが適正であるかを検討するためには、同一の基準が必要と考えている。
- 市の役割、地域の役割を決めるにあたり、八王子の公共交通ネットワークをどのようにしていくのか、という問題が整理されないと、各々の責任がどこにあるのかが明確にならないため、評価基準、役割分担については、八王子の公共交通のあり方と合わせて議論していかなければならないのではないかと。評価基準として、乗車率 30%という案については、今回の協議会の意見を踏まえた上で、次回活性化協議会で再度議論していくことでよろしいかと。
⇒(事務局) 30%という数値については、検討する必要がある。しかし、評価基準として、乗車人数ではなく乗車率で評価するという点についてはご理解いただきたい。
- 評価基準を設定し判断することは問題ない。次回活性化協議会で内容を検討した中で結論が出せればと考えている。

【本件については、引き続き検討していくということで了解が得られた。】

●議事(4) 八王子市地域公共交通総合連携計画の一部変更について

八王子の公共交通にとってバスロケーションシステムは公共交通の利便性向上に役立ち、市民にとってもメリットが大きいと考え、議題として連携計画の一部変更を取り上げた。

八王子市地域公共交通総合連携計画で位置付けられている内容の一部を変更して、バスロケーションシステム導入について記載するもの。変更内容について事務局が説明した。また、バスロケーションシステムは、正確な運行情報の把握により、バスの利便性向上、利用促進を図ることを趣旨としており、本事業内容について、西東京バス㈱が説明した。

【主な意見、質疑】

- バスロケーションシステムと合わせて、携帯電話での QR コードについて、その普及状況を教えていただきたい。また、利用者向けサービス以外に、このバスロケーションシステムについて、メリットがあれば教えていただきたい。
⇒(西東京バス㈱) バスロケーションシステムは本年 3 月 26 日から導入しており、携帯電話やパソコン等で利用されているところだが、今現在で、一日 4 千件アクセスいただき、利用率は高い状況である。また、利用者向け以外のサービスとしては、運行管理面で、バスの現在位置が GPS でわかるため、非常時の対応等、利用者の安全確認ができるということが挙げられる。
- 障害者の方から、バスロケーションシステムのおかげで、いつバスが来るのかわかるので、大変利用しやすいという声を聞いている。将来的には、他事業者も導入していただきたい。
⇒(西東京バス㈱) バスロケーションシステムは、文字の画面だけではなく、音声でも案内しているため、視覚障害者の方からも好評であるという声も聞いている。また、八王子市内を走っている全てのバスが車椅子対応車両となっている。

【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

●議事(5) はちバス西南部コースの変更ルートについて (案)

はちバス西南部コースについては、試行開始から 1 年が経過したが、利用者数が目標値に達していないため、コースの改善や運行時間の工夫をする等の検討を始めたいと考えている。

今回の活性化協議会において、はちバス西南部コース導入以前との状況変化調査、利用状況調査及び本格実施に移行するための見直しを実施する基礎資料を得ることを目的とした車内アンケートについて報告、また、変更ルートについて事務局より説明した。

【主な意見、質疑】

- ・ 高尾駅北口は、以前から、時間帯によりタクシーが入りきらない状況があり、そこにはちバスを通すとなると、さらにタクシーが入りきらない時間帯が増加するのではないか。高尾駅北口の駅広再開発の予定では、踏切側で新しい道路が出来ると聞いているが、そこが完了した後に、はちバスを出入りさせるといったことは考えていないのか。
⇒（事務局）高尾駅北口の駅広の件について、現行ではちバスは北口に乗り入れることは出来ないということ、はちバス運行時間帯が昼間が中心であり、その時間帯について改善の要望を受けているが、バス事業者と話をさせていただき、どの程度の前倒しが可能であるかということについて話を進めていきたいと考えている。現行で、北口に入れられないということで、タクシーとの競合については、ご理解いただきたい。
- ・ 高齢者の方が増加しているため、地域の方から早く実行して欲しいという声が届いている。調整が済み次第、速やかに実行していただきたい。
⇒（事務局）早期に進めていきたい。
- ・ 今後のスケジュールについて、どのように考えているのか。
⇒（事務局）早急に、関係機関、特に警察署との調整が必要になると考えられる。

【本件については、変更コースについて協議、調整を進め、引き続き、経過を本協議会で報告するということで了解が得られた。】

●報告事項(1) 第1回中心市街地循環バス専門分科会の開催について

第1回中心市街地循環バス専門分科会について、協議事項や今後の予定等について事務局より説明した。

【主な意見、質疑】

特になし

●報告事項(2) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区乗合タクシーの乗車状況について

小津町地域バス、醍醐・降宿地区乗合タクシーの乗車状況について、事務局より説明した。

【主な意見、質疑】

- ・ 1月以降、右肩上がりで利用実績を上げた地元の努力を見ていただきたい。無理しては続かないため、本協議会の中でも議論していきたい。

●報告事項(3) 交通事業者からの報告

【主な意見、質疑】

- ・ UDタクシーの導入を様々な地域で行っているが、八王子市では現在のところ、キャピタル交通が導入予定である。タクシー事業者としては、導入費用、ラーニングコスト等の問題があるため、話がなかなか進まない状況にある。また、UDタクシーについての資料が手に入らないこともあり、是非、市の方から関係機関等に投げかけをしていただき、タクシー事業者に資料等の提示など協力していただきたい。
⇒（事務局）資料提示、関係機関等への働きかけについて、今後庁舎内含めて、取り組んでいきたいと考えている。

●その他

【主な意見、質疑】

特になし

●閉会

以上